

居住地校交流にも、色々な参加の形があります。児童生徒の実態に応じて、どの場面での交流が本人にとっていいのか考えていきます。

事例1「行事での交流」

運動会や文化祭、児童会祭りなどの行事へ参加します。事前に全体で練習が必要なものもあるので、全てみんなと同じように参加ではなく、参加できる場面を選んで交流する形になります。

例)・校外学習(遠足、社会見学) 文化的行事(文化祭、作品展)
・体育的行事(運動会、球技大会、マラソン大会)など



事例2「授業での交流(通常学級)」

国語、算数、生活、図工、体育や音楽など、通常学級での授業へ参加します。できるだけ、児童生徒の得意な分野の教科を選んで、楽しいと感じてくれる教科に参加します。

例)・生活科「〇〇ランドで遊ぼう」 ・体育「表現運動」
・音楽「楽器を使って、音作りを楽しもう」
・図画工作「カレンダーを作ろう」など



事例3「授業での交流(支援学級)」

国語、算数などの個別の学習、生活、自立活動など、支援学級での授業に参加します。少人数での授業が考えられます。

例)・生活「野菜の苗を植えよう」
・国語「時計をよもう」
・自立活動「SST(ソーシャルスキルトレーニング)」など



事例4「休み時間などでの交流」

授業や行事ではなく、休み時間や清掃の時間などに交流します。自然な形で交流することができます。

例)給食、昼休みなど

